

おうちCO-OP在庫管理システムを作ってみた（途中）

要望

- おうちCOOPで届いた物で、いま何が残っているかを簡単に知りたい
- 冷蔵庫をいちいち漁るのはめんどくさい
- どうにかして

初期構想

- Webサイトを色々見たけどデータをAPIとかで抜いてくるのはできなさそう
- お届け商品のご案内メールが届くのでこれをどうにかできないか
- ご案内メールをAWSに転送してゴニョニョすればできるんじゃないか
 - AWSならすべてを解決してくれる、きっと

検討

- 自分に届いたメールをシステムに転送？
 - [Amazon WorkMail](#)なら独自のメールアカウントを発行できそう
 - ただし1ユーザー辺り 4 USD/Month 掛かる
 - [Amazon SES](#)にメール受信する仕組みがありそう
 - これを試してみる
- 独自ドメインが必要
 - SESでメールを受け取るには独自ドメインが必要そう
 - Webページも公開する予定なのであった方が便利そう
 - Route53でゴニョニョすれば簡単にドメインが取得できる
 - 取得した (.netで年1100円くらい)

Amazon SESでメール受信する

- Email receivingという仕組みがある
- 特定のメールアドレスに届いたメールに対して、処理を行うことができる
 - ドメインでも良いっぽいけど試していない
 - S3に置いたりlambdaをキックしたり
 - 最終的にはlambdaで捌くけど、一旦S3に置くようにした

最終的に、自分のメールアドレスに届いたご案内メールをシステムのアドレスに転送するように設定して、それがSES経由でS3のバケットに置かれることを確認した

S3に置かれたメールから商品情報を取得する

- S3に置かれる **メールファイル** は、メールヘッダなどが含まれる
- 本文はbase64でエンコードされてる、とか細々したルールがある
 - そういえばそんなだった
- pythonの **email** パッケージを使用して日本語文章を取得
- そこからは力技で商品情報を抜き出していく

```
■110:産地指定チリ産塩銀鮭切身（甘口）  
  4切（240g）  
  価格:520円x1
```

```
■${商品コード}:${商品名}  
  4切（240g） # この行は無視  
  価格:${価格}円x${個数}
```

(余談) GitHub Pagesにスライドを公開する

- いま見ているこのスライドのこと
- GitHub Actionsで.mdから.pdf、.htmlへ変換
 - [基ファイル](#)はこれ
- それらを GitHub Pagesに公開するようにした
- と、偉そうに書いているけど、実際はいくつかのactionsを組み合わせただけ
- [KoharaKazuya/marp-cli-action](#)
- [peaceiris/actions-gh-pages](#)
- こんな[定義ファイル](#)でOK

（余談）GitHub Pagesでカスタムドメインを使用する

- これも[GitHubの機能](#)にある
- 自分でやったのは、Route53にカスタムサブドメインを追加しただけ

```
docs.pug89.net  CNAME  シンプル - m-namiki.github.io
```


ここまでが連休でやったこと

これからやること

- 商品情報をDBに登録する
 - RDS or DynamoDB
 - lambdaからRDSを触るのはアンチパターンと言われているが、どうせ自分用だから良いかな
 - DynamoDBは触ったことないのでそっちでやってみるのも良いかな
- 在庫を表示する画面を作る
 - SPAでどうにかしたい